

# ボランティア・市民活動センター情報

平成 29 年 12 月 20 日 発行 No.2



## 心が動けば身体も動く！ 道具いらすのレクリエーション講習会

H29. 8. 19(土)

小樽市内では多くの地域で介護予防教室が立ち上がり、ボランティアさんが活発に活動しています。

またいろいろな施設から依頼されて訪問し、利用者さん達と交流しながら楽しい時間を過ごすボランティアさんも大活躍しています。

そこで、ボランティアさんに活動の場で活かしてもらおうと、今年初めてレクリエーションの講習会を企画しました！

講師にケアレクリエーション倶楽部代表の南部広司氏をお招きし、市内の高校生や高齢者施設の職員など約 50 名の方が参加してくれて、大盛り上がりの3時間でした。

みなさんが「また受講したい！」「参加して良かった！と思うてくれるような、笑顔あふれる楽しい講習会となりました。



## 災害に対する意識の持ち方、あなたは大丈夫ですか？

今年のボランティア愛ランドは札幌で開催され、災害をテーマにした講演とリレートークが行われました。

昨年の台風10号以来、道内各地で災害・防災に対する動きが高まりつつあります。10年、20年前とは気候も変動していて、「自分は大丈夫＝自分の地域は自然災害が少ないから大丈夫」という意識は、非常に危険なものであるというお話を聞いてきました。

自分に置き換えて考えてみてください。「地震が起きてもここは津波が来ないから大丈夫。」と危険にさらされながらも逃げない選択をしたとき、その背中を見て育ってきたお子さんは？お孫さんは？地域の子ども達は？

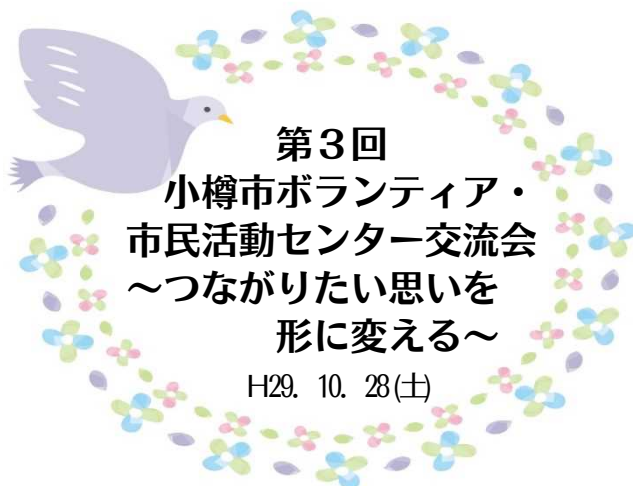
学校・家庭・地域の全てが「子どもを育む環境」と認識し、連携していくことが大切なんですね。



ボランティア愛ランド  
北海道2017inさっぽろ  
～未来へつなぐ愛ランド～



### 《井戸端会議》



### 《活動自慢大会》

今回は昼食をはさむというスタイルで開催した交流会でしたが、夜だと出席しづらいという方からは大変好評で、個人ボランティア含め、40名の方が参加してくださいました。

アイスブレイキングで始まり緊張がほどよくほぐれてからの井戸端会議。中には「私たちと同じような活動をしている団体と一緒に活動できない？つながっていけない？」という話に発展したグループもあり、回数を重ねていながら各団体が連携できることを模索している様子うかがえました。

午後からは、「小樽の子ども達と高齢者のために働く会ポッケ」と「くつろぎ食堂ほぼろ」さんに日ごろの活動をたっぷり自慢していただき、10名ほどの初参加の方にも「また参加したい。」と喜んでいただけるような楽しい交流会となりました。



小樽の子ども達と高齢者のために働く会ポッケ



くつろぎ食堂ほぼろ



《アイスブレイキング》  
唄声ボランティアスキップ和楽路

## 平成 29 年度 学童・生徒のボランティア活動

普及事業協力校 指定地域 福祉教育懇談会

H29. 11. 25(土)

小樽市内の朝里小学校、最上小学校、高島小学校、潮見台中学校の児童・生徒、町会や民生委員、子ども達と関わりのあるPTAや地域の施設職員、教育委員会・市職員など、各学校を中心として約90名の方々に集まっていただき、福祉教育懇談会を開催しました。

子ども達は、同級生などの前で発表することはあっても、こんなにもたくさんの大人の前で発表する機会はありません。普段は経験することのない緊張感だったと思いますが、事前に何度も練習した成果を存分に発揮！！

自分たちの日ごろの活動について堂々と発表する姿は、とても頼もしく見えました。



地域ごとのグループに分かれての膝をつき合わせた懇談会で、それぞれの地域で行っている活動についての意見や、これからの大人と子どもの関わりなどについて、さまざまな意見を交換することができました。

北海道社会福祉協議会の福祉教育専門委員会委員長、佐久間章氏を講師としてお招きし、子ども達には「失敗を恐れなくて行動し、自分で考えることが大切。」、地域の方々には「学校で福祉の学習をすすめ、それを地域の皆さんが支えている。福祉の学習とは、地域づくりにつながることであり、この懇談会の意義は大きい。」と、全体のお話をまとめていただきました。



絶賛  
活躍中！

ボランティア・市民活動助成事業で受けた助成金を使って、ユニフォームをそろえた「唄声ボランティア スキップ和楽路」さん。

実は、小樽市内のいろんな施設から声がかかって、ひっぱりだこなんです。

夏のある日、「人数が足りない」と代表からSOSがあり、ボランティアセンター職員も、老人保健施設はまなすさんで、お手伝いをさせていただくことになりました。

利用者さんの笑顔で、こちらも自然と笑顔になります。

ボランティアさんからよく聞いていた「こちらが元気をもらって帰って来ます。」という言葉をもっと体験することになりました。

# 配食ボランティアにご協力いただける方、募集中！

小樽市から委託を受け、65歳以上のご高齢の方のおひとり暮らしか、65歳以上のご高齢の方だけでお住まいの世帯を対象に、地域のボランティアさんがお弁当をお届けすることで見守りを行う「給食サービス事業」を実施しています。



## 配食ボランティアの活動内容

毎週金曜日の夕方に、見守りを兼ねて利用者さんにお弁当をお渡しいただくボランティア活動です。お弁当は、業者さんから配食ボランティアさんのもとへ届けられます。

お弁当をお渡しいただく方法は2種類あります。



- 近くにお住まいの配食サービス利用者さんのお宅へお弁当を届け、安否確認をする。



お弁当の業者さん



配食ボランティアさん



配食サービス利用者さん

- ご自宅・店舗等に届いたお弁当を受け取りに来る配食サービス利用者さんへ渡す。



お弁当の業者さん



配食ボランティアさん



配食サービス利用者さん

## 問い合わせ先

小樽市社会福祉協議会

地域福祉係

電話：23-7847

共同募金へのご協力  
ありがとうございました。  
本誌は、赤い羽根共同  
募金の助成を受けて発行  
しています。



小樽を拠点とするボランティア・市民活動団体の活動  
等を助成する「ボランティア・市民活動助成事業」の平  
成30年度の受付が始まります。

受付期間：

平成30年2月13日(火)～3月16日(金)

募集要綱、助成審査要領、申請書は当会ホームページ  
からもダウンロードできます。

皆さんの手で、小樽を元気に！



発行・編集

小樽市社会福祉協議会 小樽市ボランティア・市民活動センター

〒047-0033 小樽市富岡 1-5-10

小樽市総合福祉センター内

TEL 0134-33-5299 FAX 0134-32-5641

Eメール ovcac@otaru-shakyo.jp

ホームページ <http://www.otaru-shakyo.jp>